

出会う人はみな、先生である

初対面であっても、相手が心をひらいてくれ、感じのいい人と思われる秘訣があるといえます。

仕事柄、いろいろな方にインタビュをさせていただく機会があります。そのほとんどが、テレビの生番組です。生放送ですから何が起こるかわかりません。それは怖くもありませんが、その場が盛り上がりれば相手から思いがけない話を引き出せるというおもしろさがあります。

いかに相手から、これまで誰も聞いたことのなかった話を引き出せるか。それにはやはり、自分が相手から好かれる必要があります。

ちです。すると相手は、なんだ、この人がこんなにしゃべるなら自分は話さなくてもいいや、と思うのか黙ってしまふ。

アナウンサーになりたての頃は、そんな失敗をよくやって「相手にしゃべらせて、おまえは黙ってる」と大目玉をくらったものです。

相手の話にじっくり耳を傾ける

たとえ口下手であっても、人は基本的には自分の話がしたい、聞いてほしいと思う生き物なのです。ですから、まずは相手の話にじっくり耳を傾ける。すると、初対面であっても、相手はだんだん心をひらいてくれて話が弾み、「話ができて楽しかった」「また会いたい」と思ってもらえるような気がします。

もっとも、人の話を「ふうん、そうですね」と聞いていただけだと、相手は「この人は話を適当に聞き流しているな」と感じて気分を

がけているのは、「出会う人はみな、私の先生である」と思っただけに過ぎない。

「この人からは、私の知らないことを教えてもらえる」という気持ちで向き合っていると、人は何を考えているんだろう、何を感じているんだろう……と興味がいってきます。相手がたとえ小さなお子さんであっても、です。

むしろ、子どもは感性が豊かで、私たち大人が見過ごしていることに気づいたり、とても思いつかないような発想をしていたりして、驚かされることがよくあるんですよ。

みんなに好かれなくてもいい

ただ、いくら「感じのいい人でいたい」と思っている心にかけていても、どうしても合わない人はいます。若い頃は、みんなに好かれたいと思ったこともありましたが、そんなことは絶対に無理。自分だって、すべての



うお ずみ
魚住りえ
(フリーアナウンサー)

1995年、慶應義塾大学を卒業し、日本テレビにアナウンサーとして入社。報道、バラエティーなどジャンルを問わず幅広く活躍し、2004年に独立。アナウンスメント技術を活かした「魚住式スピーチメソッド」を確立し、ボイス・スピーチデザイナーとしても活躍中。

す。「この人になら話してもいいかな」と思ってもらわないと、インタビュは成り立ちませんからね。

スポーツ選手、俳優、歌手、企業の経営者の方たち……なかには、もともと口数の少ない人や気難しい人もいます。

そうした場合、沈黙の流れるのが怖くてついしゃべりすぎてしまったり、相手の答えを待たなければいけないのに「○○さんは、△△がお好きなんですよ」などと先回りしが



害しかねません。ちよつと技術的な話になりますが、たとえば相手が「私は○○だと思ふんです」と言ったら「なぜ、そう思うんですか?」というように質問で返す。すると相手は、「自分のことを理解しようとしてくれる」と感じて好意を抱きます。

人の話を聞く姿勢として「相手に興味を持つことが大切」とよく言われますが、まさにこの、「相手が話してくれたことに対して質問する」興味を示す「こと」なんです。

とはいえ、自分とはあまり接点のない相手、それも初対面だったりすると、「興味を持って」と言われてもなかなか難しい。そこで私が心

人のことを好きになれるわけではないですが、そのことに気づいてから、ずいぶん気持ちになりました。

もちろん、人間関係で失敗をして落ち込むことは今でもあります。それが信頼している人との間のことであれば、本当につらくて苦しい。もう誰も信じられない! と部屋に閉じこもってしまいたい心になったこともあります。でも、人で傷ついた心は人では癒せません。ペットが癒してくれる……と言っても、結局、人間不信になった時は、再び人を信じられるようになることでしか、心は回復しないような気がします。

私は、傷ついた時ほど外に出て行って、友人とおしゃべりをしてエネルギーをもらいます。そして、恐れずに、また新しい人間関係を作っていく。そこで信頼できる人に出会うことができる、「ああ、世の中、捨てたもんじゃないな」と元気がわいてくるのです。